

## 大阪産業大学 研究シーズシート

<b>研究シーズ テーマ</b>	QOL 向上のためのメンタルヘルスマネジメントの必要性 学校教育からトップアスリートまで一貫したサポート		
<b>分野</b>	学校教育、スポーツマネジメント、社会科学		
<b>キーワード</b>	スポーツマネジメント、メンタルヘルス、スポーツ心理学		
<b>研究者名・職位</b>	永田靖・教授		
<b>所属</b>	経営学部 商学科		
<b>研究シーズ概要</b>	<p>日本におけるコロナ禍の影響をまたぎ、ストレスフルな社会環境下ではメンタルの安定による経営資源の効率的な活用は重要である。さらに、メンタルヘルスマネジメントにより、一般企業はもとより、スポーツ団体にとって必須項目であるが、欧米と比しても大きな格差が生じている。</p> <p>メンタルヘルスに関しては、女性特有のフェミテックの課題があり、バイオリズムや身体的ホルモリズムにより異なるため女性の社会進出や子育て支援においても重要な位置づけとなっている。一方、男性においてもアフターコロナの中で、日常生活の取戻しを円滑に行う上でも、メンタルヘルスのマネジメント知識習得は常識化しているといっても過言ではない。</p> <p>さらに、スポーツ団体においても、小児からトップアスリートまで個々において様々なストレスを抱えながらの競技スキルアップに勤しんでいるが、競技者こそメンタルヘルスマネジメントは必須条件である。特に、相談者は友人というライバル、知られたくないスタッフ、心配をかけたくない家族など、相談相手がないのが現状である。そのためにも、競技者、スポーツ団体以外の第三者が守秘義務を持って、カウンセリングを行い現状の把握を早期に行う必要がある。</p>		
<b>進捗状況</b>	[着想・構想段階]	[基礎研究段階]	実証段階
<b>連携研究の 範囲・方法</b>	スポーツにおけるストレス度チェック、カウンセリング、メンタルヘルスマネジメントの重要性を認知させて、各スポーツ団体にカウンセリングができる仕組みづくりを創出することで心理学と精神医学と経営学の学際的な専門性を習得し、メンタルヘルスの「コンシェルジュ」を育成する。		
<b>用途・効果 ・市場</b>	社会が求める用途として、メンタルヘルスの重要性は浸透しつつあるが、未病と疾病の間には大きなハードルがあり、カウンセリングや精神医学に頼ることは現状では厳しく、橋渡し役となる存在が皆無であるが重要である。社会への貢献や効果では、精神医学、スポーツマネジメント、経営学の専門性を持つ人的資源は貴重であり、経済社会での円滑な経営活動、スポーツビジネスの発展のためには、中心となるプレイヤーの支援役として大きな効果がある。市場規模と範囲は、スポーツビジネスに限らず、すべての商品・サービスを提供する企業にとり、ワンチームの重要なキーパーソンであり、支援役となる。		
<b>研究者の 業績等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆財務会計、管理会計、税務会計、財務分析などに関する論文多数</li> <li>◆スポーツファイナンス、スポーツマネジメント、スポーツ社会学、スポーツツーリズム、スポーツビジネス、スポーツイベントなどに関する論文多数</li> <li>◆2009年より中国経済産業局 スポーツ関連産業支援アドバイザー、財務指導専門委員</li> <li>◆2015年より中国スポーツコラボネットワークのコーディネータ</li> <li>◆2023年 日本スポーツ精神医学会認定 メンタルヘルス運動指導士資格取得</li> </ul>		

<b>連絡先</b>	大阪産業大学 社会連携・研究推進センター 産業研究所事務室 TEL : 072-875-3001 (内線 2816・2809) FAX : 072-875-6551 E-mail : sangaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp
------------	---